SCREEN

80th Anniversary

Consolidated Business Results & Forecasts

2024年3月期 第1四半期決算説明会

2023年7月28日

株式会社SCREENホールディングス

内容：

- 1Q連結決算の概要　代表取締役 専務取締役（CFO）　近藤　洋一
- 事業環境および業績予想　代表取締役 取締役社長（CEO）　廣江　敏朗

資料取り扱い上の注意

・本資料および口頭にて提供する業績予想は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切り捨てで処理しております。比率は四捨五入しております。

・本資料では、例えば、「FY2024/03」と示す場合、2023年4月1日～2024年3月31日の会計期間を表します。

SCREEN

80th Anniversary

1Q 連結決算の概要

2023年7月28日

株式会社SCREENホールディングス
代表取締役 専務取締役 最高財務責任者（CFO）
近藤　洋一

1Q 連結決算の概要

1Q決算実績

- 全社>>
  ・前年同期比減収減益

- SPE>>
  ・前年同期比減収減益、一部の顧客の装置納入時期のスライドによる影響

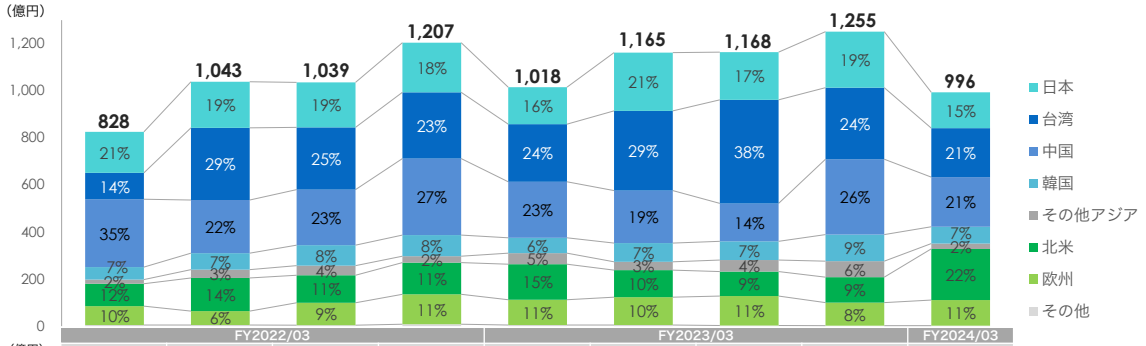
- GA>>
  ・前年同期比増収増益、売上、営業利益ともに安定

FY2024/03 1Q 連結業績 前年同期比

(億円)	FY2023/03					FY2024/03		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	前年同期比	
売上高	1,018	1,165	1,168	1,255	4,608	**996**	**-21**	**-2.1%**
営業利益 営業利益率	178 17.5%	203 17.4%	184 15.8%	197 15.8%	764 16.6%	**134** **13.5%**	**-44**	**-24.8%** **-4.0pt**
経常利益	182	204	185	201	773	**136**	**-45**	**-24.8%**
親会社株主に帰属する 当期純利益	160	135	121	156	574	**94**	**-66**	**-41.4%**

全社地域別売上高比率

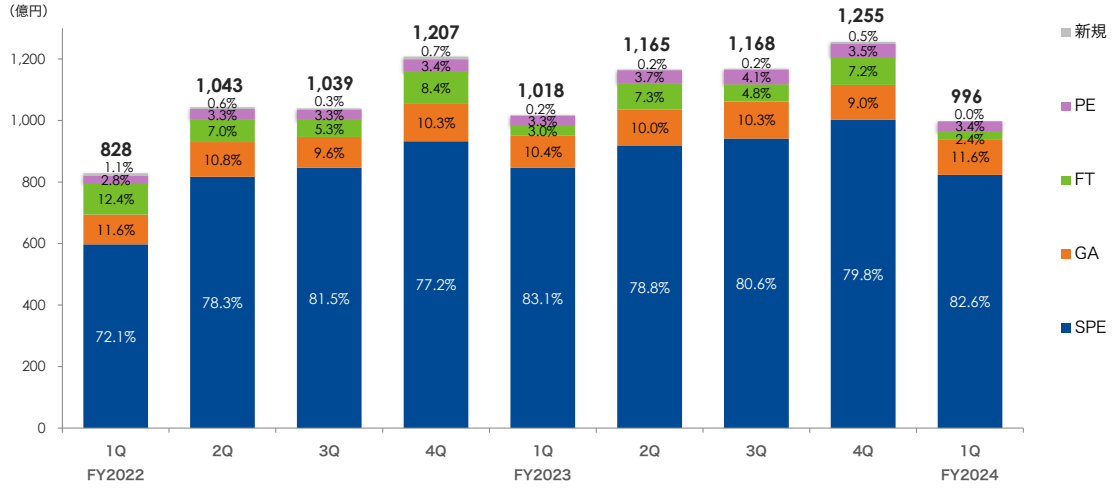
四半期



(億円)	FY2022/03 1Q	2Q	3Q	4Q	FY2023/03 1Q	2Q	3Q	4Q	FY2024/03 1Q
日本	174	196	191	211	157	248	203	238	**152**
台湾	112	306	264	281	245	338	440	304	**208**
中国	288	226	236	325	238	223	161	320	**211**
韓国	53	70	87	90	65	80	79	113	**71**
その他アジア	18	35	41	27	47	35	49	68	**23**
北米	95	141	117	135	151	115	104	108	**217**
欧州	80	59	95	127	107	118	125	98	**109**
その他	5	5	4	8	5	5	3	2	**2**

セグメント別売上高比率

四半期



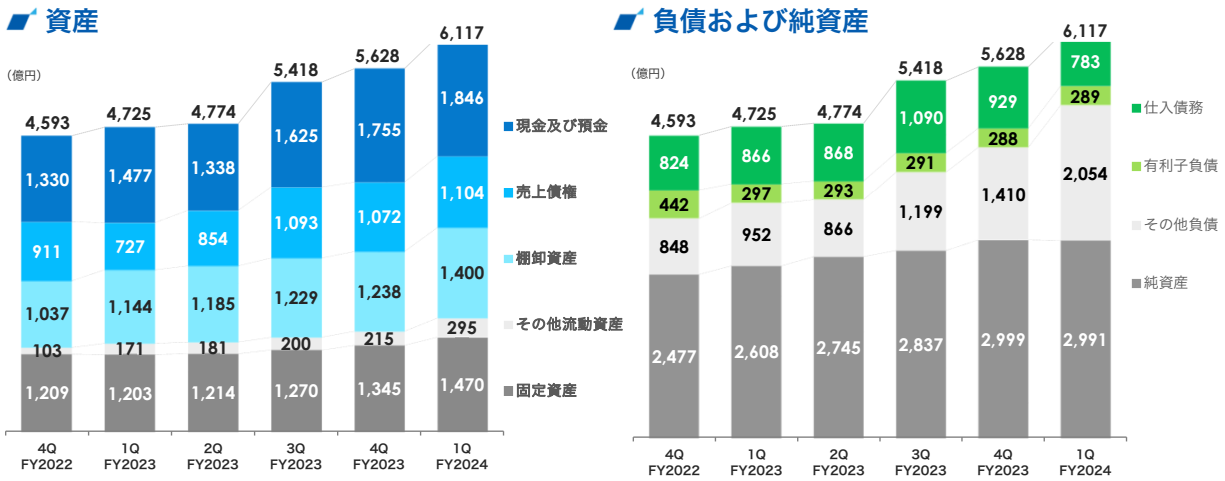
FY2024/03 1Q 連結業績・四半期推移 セグメント別

		FY2022/03				FY2023/03				FY2024/03
	（億円）	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
SPE	売上	597	816	846	932	846	919	941	1,002	**823**
	営業利益	88	154	171	214	188	195	173	211	**137**
	営業利益率	14.9%	18.9%	20.2%	23.0%	22.3%	21.3%	18.5%	21.1%	**16.8%**
GA	売上	96	112	99	123	105	116	120	113	**115**
	営業利益	2	4	4	5	6	9	10	6	**9**
	営業利益率	2.7%	3.6%	4.3%	4.3%	6.4%	8.2%	9.0%	6.1%	**8.0%**
FT	売上	102	72	55	101	30	84	56	90	**23**
	営業利益	2	-0	-3	7	-8	-2	-0	-7	**-4**
	営業利益率	2.2%	-0.9%	-5.5%	7.2%	-27.0%	-3.1%	-0.8%	-7.8%	**-20.1%**
PE	売上	23	34	33	40	33	42	47	44	**34**
	営業利益	2	7	6	5	4	11	10	7	**3**
	営業利益率	9.0%	21.0%	17.8%	12.9%	14.0%	26.2%	21.1%	17.2%	**10.9%**

FY2024/03 1Q 連結業績 セグメント別

	(億円)	FY2023 4Q	FY2024 1Q	QoQ 売上増減		QoQ 営業利益増減		FY2023 1Q	FY2024 1Q	YoY 売上増減		YoY 営業利益増減	
SPE	売上	1,002	**823**	-178	-17.9%	-74	-34.9% -4.4pt	846	**823**	-22	-2.7%	-50	-26.7% -5.5pt
	営業利益 営業利益率	211 21.1%	**137** **16.8%**	減収減益。北米地域比率が上昇				188 22.3%	**137** **16.8%**	ファウンドリー向け売上増も、メモリー向け減少し、減収減益。北米向けは増加、台湾向けは減少			
GA	売上	113	**115**	2	2.1%	2	35.6% 2.0pt	105	**115**	10	9.8%	2	38.7% 1.6pt
	営業利益 営業利益率	6 6.1%	**9** **8.0%**	増収増益。POD、インクの売上は引き続き安定				6 6.4%	**9** **8.0%**	装置販売やリカーリングビジネス増加。増収増益			
FT	売上	90	**23**	-66	-73.5%	2	- % -12.3pt	30	**23**	-6	-21.8%	3	- % 6.9pt
	営業利益 営業利益率	-7 -7.8%	**-4** **-20.1%**	顧客の設備投資低迷により、減収。固定費削減により赤字幅は減少				-8 -27.0%	**-4** **-20.1%**	顧客の設備投資低迷を受け、売上減。赤字幅は減少			
PE	売上	44	**34**	-10	-23.4%	-3	-51.4% -6.3pt	33	**34**	0	1.8%	-0	-20.6% -3.1pt
	営業利益 営業利益率	7 17.2%	**3** **10.9%**	減収するも、営業利益率10%台を維持				4 14.0%	**3** **10.9%**	固定費の増加などにより減益			

財務状況：連結貸借対照表



■ 自己資本比率48.9%（FY2024/03 1Q）、一時的に悪化。純資産は横這いも、棚卸資産の増加および前受金受領に伴う現金及び預金の増加のため

SCREEN FY2024/03Q1_20230728 Innovation for a Sustainable World 9

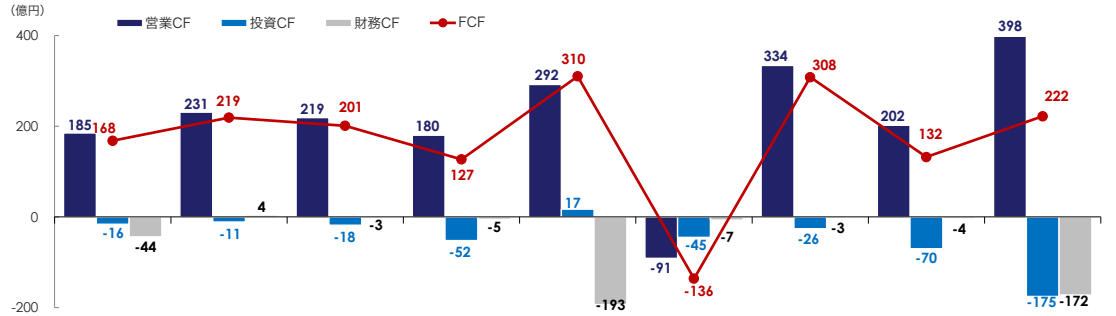
●総資産：6,117億円となりました

●資産の部
・棚卸資産や現金及び預金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ、489億円（8.7%）増加、6,117億円となりました

●負債および純資産の部
・仕入債務が減少した一方、契約負債が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ、497億円（18.9%）増加、3,126億円となりました
・純資産は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上の一方で、配当金の支払いなどにより、前連結会計年度末に比べ、8億円（0.3%）減少、2,991億円となりました

●以上の結果、自己資本比率は48.9%でした

財務状況：連結キャッシュ・フロー



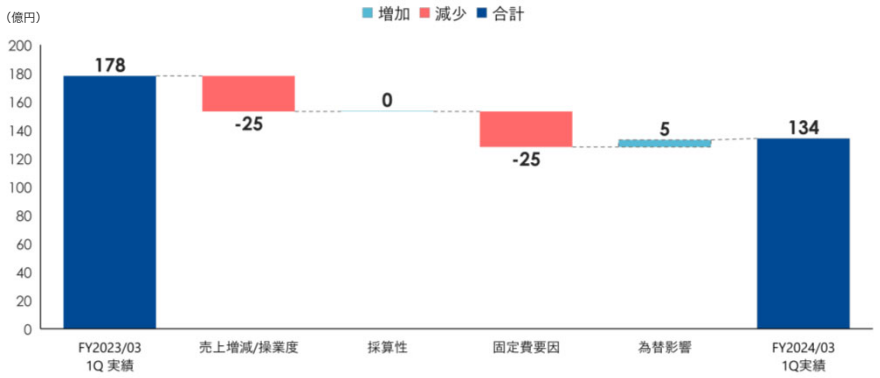
(億円)	FY2022/03 1Q	2Q	3Q	4Q	FY2023/03 1Q	2Q	3Q	4Q	FY2024/03 1Q
営業CF	185	231	219	180	292	-91	334	202	**398**
投資CF	-16	-11	-18	-52	17	-45	-26	-70	**-175**
FCF	168	219	201	127	310	-136	308	132	**222**
財務CF	-44	4	-3	-5	-193	-7	-3	-4	**-172**

※ FCF：フリーキャッシュ・フロー

- ■ 営業CFは、堅調に推移
- ■ 投資CFは、主に工場建設等の生産能力増強投資の支払い
- ■ 財務CFは、主に配当金の支払い

営業利益増減分析

FY2023/03 1Q実績 vs FY2024/03 1Q実績



※利益要因は、5億円刻みの「約」表記

>>売上増減/操業度の要因は、ほとんどがSPE、次いでFT
>>固定費の増加要因は、主にSPEの成長投資（人件費、減価償却費、研究開発費など）
>>為替は、主にGA、PE

SCREEN

80th Anniversary

事業環境および業績予想

2023年7月28日

株式会社SCREENホールディングス
代表取締役 取締役社長 最高経営責任者（CEO）
廣江　敏朗

事業環境および業績予想

事業環境

- **SPE：**
  ➡メモリーメーカーはさらに設備投資減少の動き。ファウンドリーへも投資縮小の動きが波及するも、DXの進展やGXを背景にした微細化や、パワー半導体をはじめとする成熟ノードへの投資は底堅く推移すると予想。
  ➡中国では成熟ノード向け投資が活況

- **GA：**米国でPODが堅調、安定推移を見込む

- **FT、PE：**市場回復を待ちながら、次期成長に向け開発投資を強化

業績予想

- **FY2024・通期予想は据え置き（前期比増収増益）**
  ➡一部の顧客の装置納入時期のスライドによる影響により、上期は下方修正、下期は上方修正
  ➡通期の売上、営業利益（率）ともに、3期連続で過去最高を更新予定

- **FY2024・配当、中間・期末ともに据え置き（前期比増配）**

- **中期経営計画最終年度、持続的な成長に向けた投資継続**

SPE事業概況

市場動向および見通し

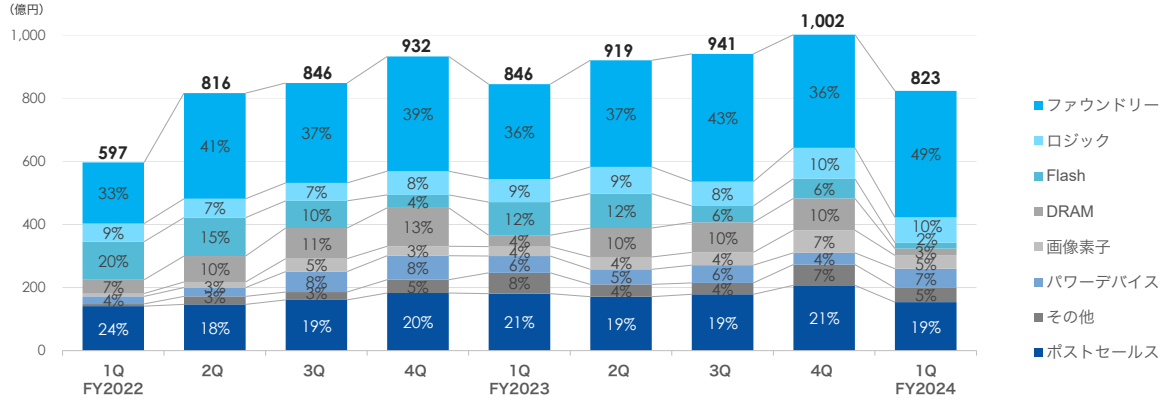
- **WFE：2023年は前年比、20%弱の減少を見込む**
  - ・ファウンドリー・ロジック：一部投資に時期調整あるも、地政学的背景や長期市場拡大を見据えた投資は継続
  - ・メモリー：大手メモリー各社の投資意欲回復は25年以降と予想
- **アプリケーション別の動向**

ファウンドリー	台湾地域以外での設備投資がメインに
ロジック	投資はさらに弱含むも先端向けを中心に投資継続
メモリー	本格投資再開にはまだ時間がかかる見込み
画像素子	日本およびアジアでの投資が堅調に推移
パワーデバイス	欧州大手中心に、日本・アジア・北米での投資も堅調に推移
その他	アナログ、センサー、光学、素材など堅調な投資が継続

- **中国市場：成熟ノード向け投資が活況。ファウンドリー、パワーデバイスに加え、メモリー投資も**

SPE 連結・新規装置アプリケーション別、およびポストセールス売上推移

四半期



	1Q FY2022	2Q	3Q	4Q	1Q FY2023	2Q	3Q	4Q	1Q FY2024
ポストセールス売上高（億円）	141	147	161	183	181	171	179	207	**154**

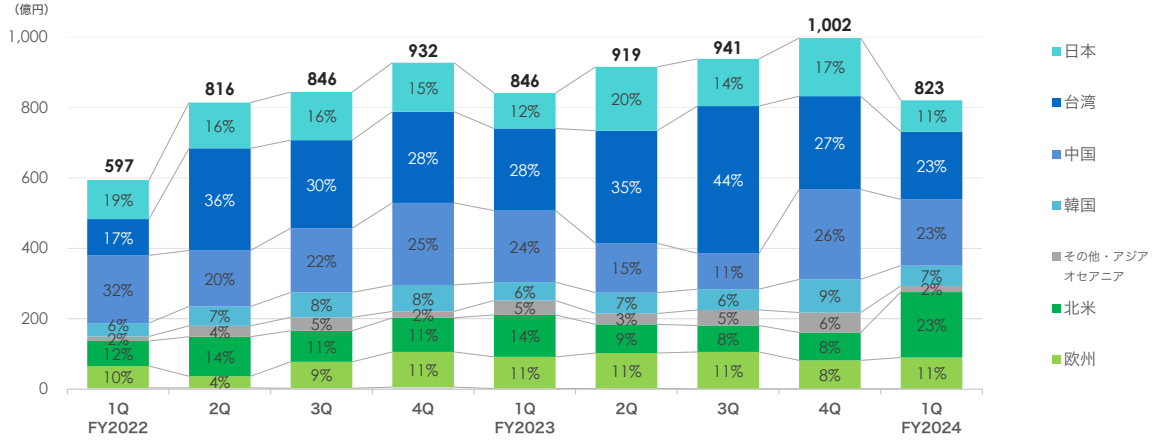
注）ポストセールス売上高は、過去の発表数字に集計上の訂正を入れています

■ アプリケーション別 (QoQ)(YoY)：ともにファウンドリーが大幅増。台湾・中国企業が牽引
■ ポストセールス：金額減少ながら20%程度の比率を維持

SPE 連結地域別売上高比率 - 仕向地ベース

SPE

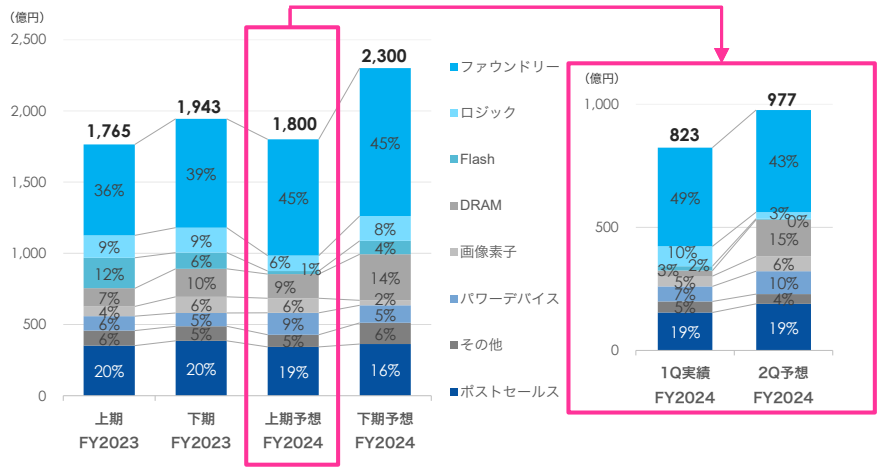
四半期



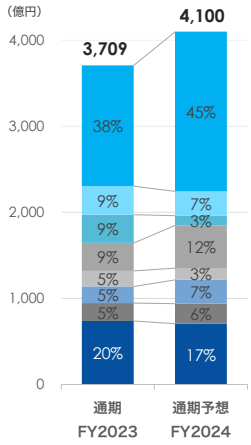
■ 1Q(QoQ) (YoY) ：大型プロジェクトにより、北米が大幅増

SPE 売上高比率予想（連結）

アプリケーション（デバイス）別



通期

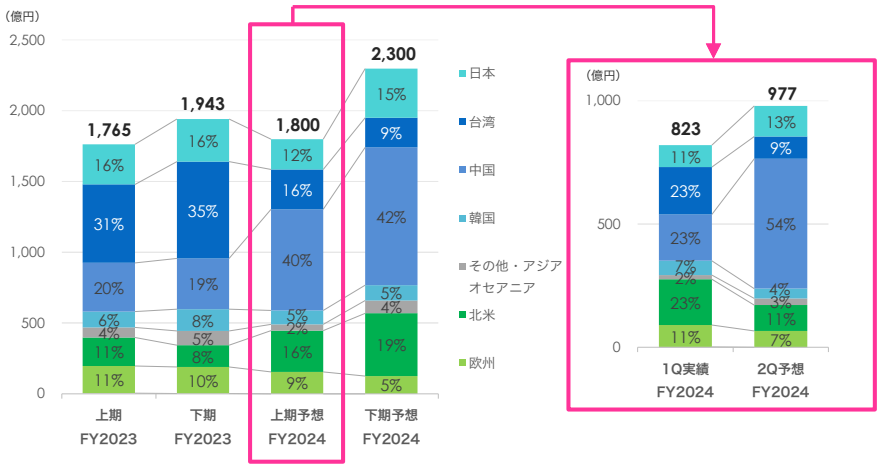


- ■ 上期予想(YoY)：ファウンドリーが大幅増。パワーデバイスも増。
- ■ 下期予想(YoY)：ファウンドリーおよびDRAMで増加見込み
- ■ 通期予想(YoY)：ファウンドリー大幅増、DRAM、パワーデバイスも増

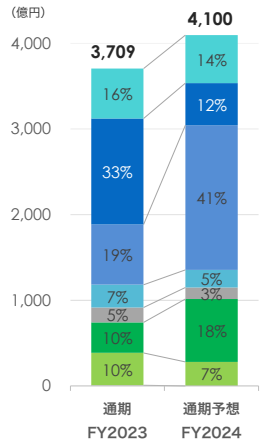
SPE 売上高比率予想（連結）

SPE

地域別 - 仕向地ベース



通期

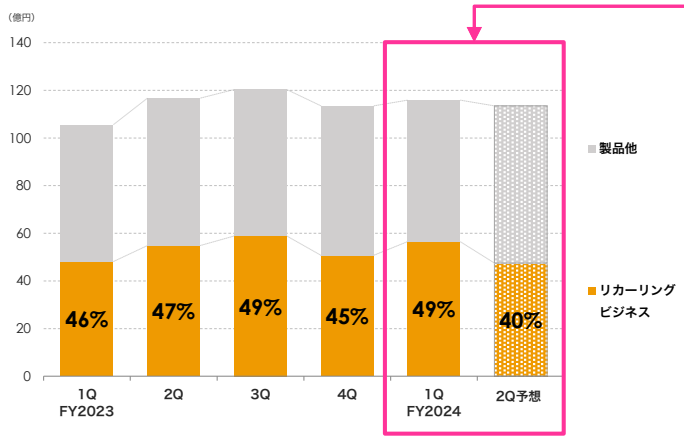


■ 上期および下期予想(YoY)：先期からの持越しと新規案件を確実に取込み中国が大幅増加見込み。北米も増加
■ 通期予想(YoY)：中国比率が2倍以上成長。北米比率も増加

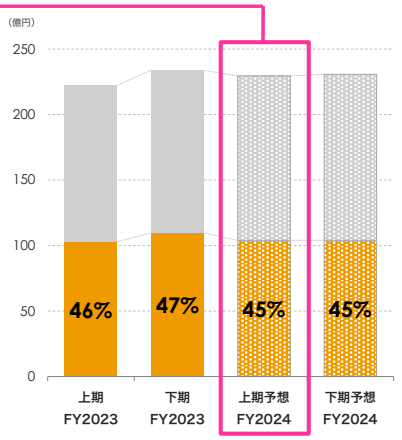
GA 連結売上高推移

GA

四半期実績・予想



半期実績・予想



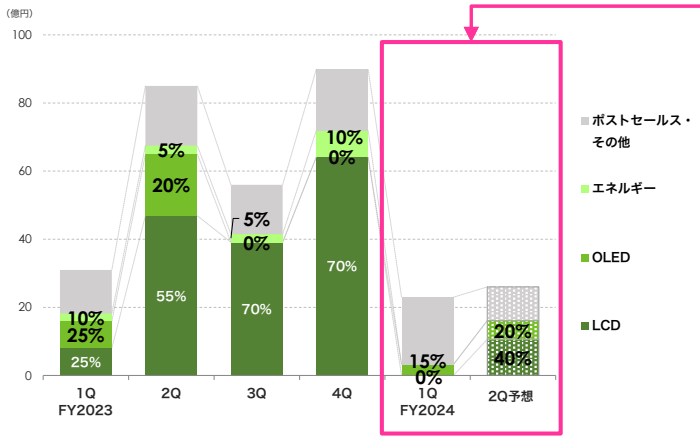
＊注） 予想比率は、5%刻みの「約」表記

- ■ インクを中心とするリカーリングビジネス（RB）は引き続き堅調
- ■ POD需要は今後も底堅く続くと予想
- ■ 通期、営業利益率は7%台を維持継続

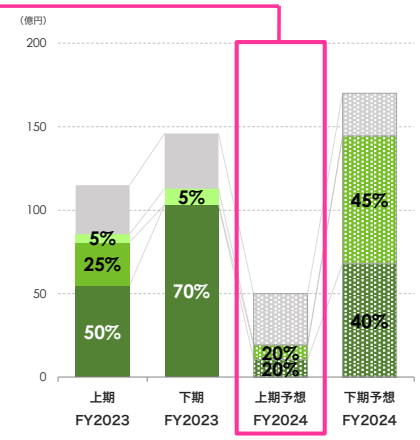
FT 連結売上高推移

FT

四半期実績・予想



半期実績・予想



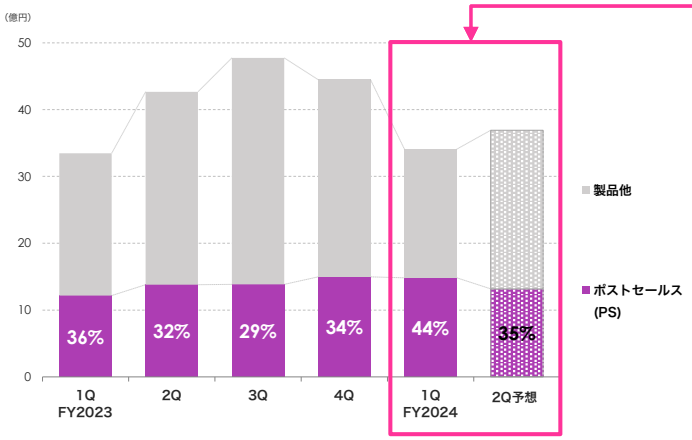
＊注） 予想比率は、5%刻みの「約」表記。FY2024から、エネルギーはその他に含める

- ディスプレー市場はCY2023も不透明な環境が続くと予想
- 今期、HDにエネルギー（水素関連領域）を移管
- 来期のG8.6 OLED向け投資に期待

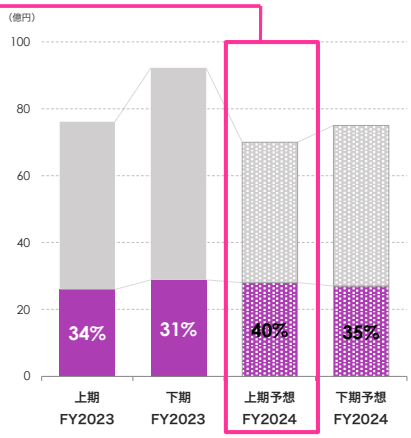
PE 連結売上高推移

PE

四半期実績・予想



半期実績・予想



＊注） 予想比率は、5%刻みの「約」表記

■ データセンター向け需要回復は来期以降に期待
■ 市場回復後の成長に向け、今期、新製品投入を目指す
■ 安定した営業利益の創出を見込む

FY2024/03 業績予想 (2023年7月28日時点)

(億円)		FY2023/03 実績	FY2024/03 5月発表予想			FY2024/03 7月発表予想		
		通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高		4,608	2,290	2,660	4,950	2,155	2,795	4,950
営業利益 営業利益率		764 16.6%	355 15.5%	495 18.6%	850 17.2%	325 15.1%	525 18.8%	850 17.2%
経常利益		773	340	480	820	310	510	820
親会社株主に帰属する当期純利益		574	220	360	580	200	380	580
SPE	売上	3,709	1,950	2,150	4,100	1,800	2,300	4,100
	営業利益 営業利益率	769 20.7%	395 20.3%	505 23.5%	900 22.0%	360 20.0%	540 23.5%	900 22.0%
GA	売上	456	225	235	460	225	235	460
	営業利益 営業利益率	33 7.4%	15 6.7%	20 8.5%	35 7.6%	15 6.7%	20 8.5%	35 7.6%
FT	売上	261	35	185	220	50	170	220
	営業利益 営業利益率	-18 -7.0%	-20 -57.1%	5 2.7%	-15 -6.8%	-15 -30.0%	0 0%	-15 -6.8%
PE	売上	168	70	75	145	70	75	145
	営業利益 営業利益率	33 19.9%	10 14.3%	10 13.3%	20 13.8%	10 14.3%	10 13.3%	20 13.8%
その他および調整	売上	12	10	15	25	10	15	25
	営業利益	-54	-45	-45	-90	-45	-45	-90

注）FY2024/03（通期）想定為替レート>> 1USD＝￥135 、1EUR＝￥145
想定為替感応度（通期営業利益ベース）>> 対USD：￥1.6億、対EUR：￥0.2億

＊ セグメント別営業利益予想：5億円刻みの「約」表記

SCREEN FY2024/03Q1_20230728 Innovation for a Sustainable World 22

●全社（FY2024/03通期予想）：

・売上高（4,950億円）、営業利益（850億円）、経常利益（820億円）、親会社株主に帰属する当期純利益（580億円）は、いずれも過去最高となる見込みです

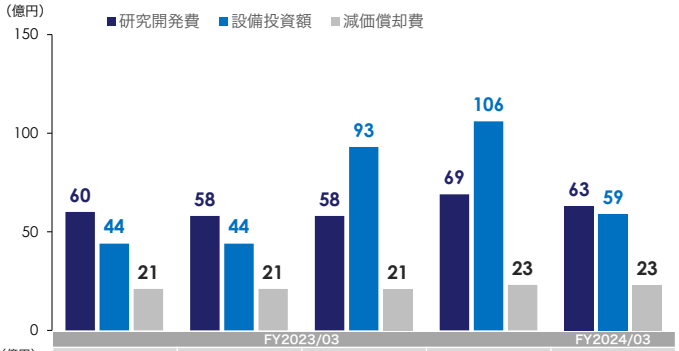
●SPE：

・メモリーだけでなく、ファウンドリーへも投資縮小の動きが波及する（5月時点より弱含む）ものの、パワー半導体をはじめとする成熟ノードや中国投資は底堅く推移する見込みです

・S^3-3や新工場のS^3-4は、2Qより徐々に稼働率を上げながら、今期通期の売上予想をしっかりと支えていく見通しです

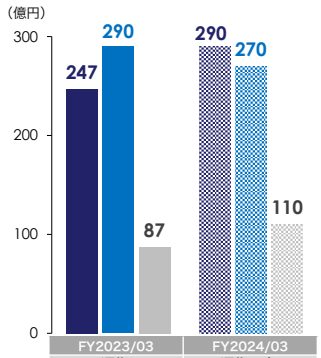
研究開発費・設備投資額・減価償却費

四半期



（億円）	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
研究開発費	60	58	58	69	**63**
設備投資額	44	44	93	106	**59**
減価償却費	21	21	21	23	**23**

通期



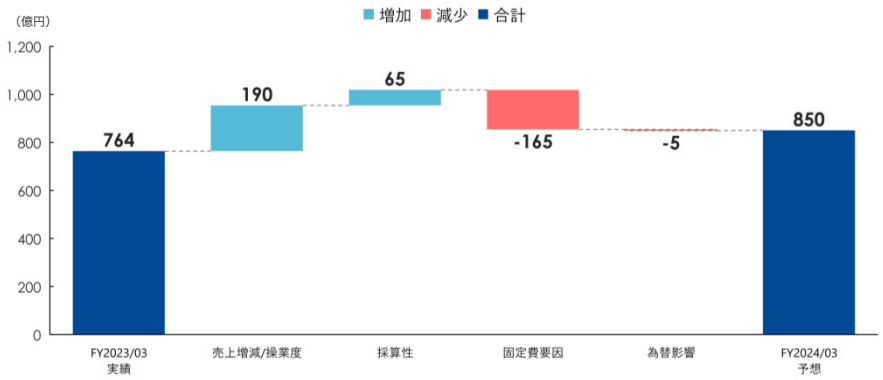
FY2023/03 通期	FY2024/03 通期予想
247	**290**
290	**270**
87	**110**

■研究開発費：SPE中心に、新規事業領域（ライフサイエンス、AI、アドバンスドパッケージ、エネルギー/水素関連分野）への新製品開発など

■設備投資額：SPEの新工場S^3-5竣工など、生産・サービス体制強化

営業利益増減分析

FY2023/03 実績 vs FY2024/03 予想



※利益要因は、5億円刻みの「約」表記

>>売上増減/操業度のほとんどがSPE
>>採算性のほとんどがSPE
>>固定費の増加要因は、主にSPEの成長投資（人件費、減価償却費、研究開発費など）

最近のグループニュース（Webサイトより抜粋：2023年5月11日～2023年7月28日）

HD

- パートナー企業さま向けサステナビリティ関連Webサイトを開設
  ～SCREEN Supply Chain Sustainability Site～（2023.6.5）
- SCREEN、滋賀県、滋賀銀行の3者で、「サステナビリティ向上に資する脱炭素に関する協定」を締結（2023.6.9）
- 医療関連機器のベンチャー企業アドリアカイム社の株式を取得（2023.6.14）
- マッチングギフトによる難民の保護・支援活動のための寄付について（2023.6.20）
- SCREENホールディングス、「健康経営アライアンス」に参画
  ～実践への取り組みとノウハウ共有で健康経営を推進～（2023.7.3）

SPE

- 「半導体・オブ・ザ・イヤー2023」で「優秀賞」を受賞
  ～次世代パワーデバイス向けウエハー外観検査装置「ZI-3600」が高評価を獲得～（2023.6.1）
- 九州・熊本にグローバルトレーニングセンターを設置（2023.6.7）

GA

- 中国・漢儀社と、ヒラギノフォントの販売における 業務提携に合意（2023.6.15）

ESG関連の取り組み

E（環境）

- TCFDへの取り組み：GA・FT事業の気候関連情報をWebに開示
- 当社、滋賀県、滋賀銀行の3者で、「サステナビリティ向上に資する脱炭素に関する協定」を締結
- GXリーグへの参画

S（社会）

- パートナー企業さま向けサステナビリティ関連Webサイトを開設
- 「健康経営アライアンス」に参画
- 「きょうと生物多様性センター」（4月開設）との連携開始
- 2024年3月期 企業理念浸透施策の運用開始（6月～）

G（ガバナンス）

- 新型コロナウイルス感染症に関するパンデミック対策を終了（5月8日）
- コーポレート・ガバナンス報告書の更新（7月13日）

九州・熊本にグローバルトレーニングセンターを設置 <2023年6月7日>

株式会社SCREENセミコンダクターソリューションズのグループ会社、株式会社SCREEN SPEサービス（SESV）は、熊本事業所内に、グローバルトレーニングセンター「匠-TAKUMI-」を設置。
保守・サービス体制を強化する

- 株式会社SCREEN SPE サービス（SESV）
  半導体製造置の新規セットアップ・メンテナンス、オリジナル周辺機器の開発、安全ツールの提供などを行うサービス会社

- 半導体製造プロセスの現場における知見を活用し、各種研修を実施
  ・フィールドサービスエンジニアを育成
  （当社製品の搬入・セットアップ、各種サポートを担う）
  ・お客さまへの製品メンテナンス研修

- 未経験のエンジニアを2年間で一人前にすることをコンセプトに、能力を引き出すためのコーチングを行う場として「匠」と命名

熊本事業所

詳細はこちら （公式WEBページへ）

>>「お客さま満足度」のさらなる向上を目指し、実践的でハイレベルなエンジニアの育成を強化
>>保守・サポート体制をより充実させ、半導体業界のさらなる発展に貢献

Topics>>

SPE

ウエハー外観検査装置「ZI-3600」が「半導体・オブ・ザ・イヤー2023」で「優秀賞」を受賞 <2023年6月1日>

- 次世代パワーデバイスの安定生産に貢献、高解像度と高生産性を両立した性能などが評価される
  - 独自開発の検査ヘッドと改良した高速画像処理エンジンにより、従来比約2倍※実用処理能力を実現
    ※「ZI-3500」との比較。パターン付き300mmウエハーを全面検査した場合
  - 解像度の異なる3種類の対物レンズを1つのヘッドに搭載。微細欠陥からマクロ欠陥まで幅広い検査を1台で対応

■ 半導体・オブ・ザ・イヤー

「電子デバイス産業新聞』（株式会社産業タイムズ社）が毎年開催し、今年で29回目。開発の斬新性、量産体制の構築、社会に与えたインパクト、将来性などを基準に、同新聞の記者の投票によって受賞製品・技術が選定される

ZI-3600

詳細はこちら（公式WEBページへ）

>>カーボンニュートラルの実現に向け、高まる次世代パワーデバイスの需要に対応

医療関連機器のベンチャー企業アドリアカイム社の株式を取得 <2023年6月14日>

株式会社SCREENホールディングスはアドリアカイム株式会社（以下、アドリアカイム社）の第三者割当増資の株式引受等により同社の株式を取得。持株比率20%以上の持分法適用関連会社になる

- アドリアカイム社は、急性心筋梗塞由来の慢性心不全発症を軽減するための、世界初の迷走神経刺激デバイスの開発に取り組むベンチャー企業
- 開発中の迷走神経刺激デバイスは、低侵襲の治療機器。患者の心臓近傍の迷走神経を微弱な電気で刺激し、心筋梗塞領域の拡大を抑制する。慢性心不全の発症予防に対し、薬剤投与では実現できない迷走神経の賦活化を電気刺激で実現。非臨床試験を終え、間もなく臨床試験を開始する

■出資先概要

(1) 名　称：	アドリアカイム株式会社
(2) 本社所在地：	東京都八王子市南新町13番地1 八王子繊維センタービル101号室
(3) 代表者：	代表取締役 小林 正敏
(4) 設　立：	2018年11月

詳細はこちら（公式WEBページへ）

>>医療分野のさまざまなニーズに応え、社会課題の解決に貢献する

Topics>>

HD

SCREEN、滋賀県、滋賀銀行の3者で「サステナビリティ向上に資する脱炭素に関する協定」を締結 ＜2023年6月9日＞

滋賀県内に複数の事業所や多くのパートナー企業を持つ当社と、地方自治体の滋賀県、地域金融機関の株式会社滋賀銀行が連携し、サプライチェーンの脱炭素化を進めるため、本協定を締結

- 協定を通じ、カーボンニュートラルの実現を目指す

＜協定項目＞

① 脱炭素の啓発に関すること
② 脱炭素支援に関すること
③ その他、三者が協議し合意した事項

締結式の様子
左から（肩書は発表当時）
滋賀銀行 高橋 祥二郎 頭取
滋賀県 三日月 大造 知事
SCREENホールディングス
会長 垣内 永次

詳細はこちら （公式WEBページへ）

>>環境問題や社会課題の解決に積極的に取り組み、社会の持続的な発展に貢献

Topics>>

GA

中国・漢儀社と、ヒラギノフォントの販売における 業務提携に合意

～「ヒラギノ角ゴ 簡体中文」の法人向け・個人向けライセンス販売を開始～ ＜2023年6月15日＞

株式会社SCREENグラフィックソリューションズは、北京漢儀創新科技股份有限公司および上海驿创信息技术有限公司※1（以下、漢儀社）との間で、ヒラギノフォントの中国での販売における業務提携に合意。2023年6月上旬以降、同社の販売チャネルを通じて「ヒラギノ角ゴ 簡体中文」の販売を順次開始

ヒラギノ角ゴ 簡体中文

・漢儀社の協力を得て開発したフォント
・日本のフォントメーカーとして初めて、中華人民共和国政府の国家標準「GB 18030-2000」※2の認証を取得
・「ヒラギノ角ゴシック体」のデザインを継承し、現代的な字形と細部にまでこだわった品質の高さが特長

ヒラギノ角ゴ 簡体中文 Std

・「GB 2312-80」※3に対応。パッケージや広告、動画まで幅広い場面で利用可能

※1 上海驿创信息技术有限公司は、北京漢儀創新科技股份有限公司の完全子会社
※2 GB 18030-2000：2万文字以上を収録した中国国家規格の文字セット。中国で販売される電子製品には、本規格対応フォントの使用が義務付けられる
※3 GB 2312-80：中国国家規格として定められた文字セット。中国国内で広く普及し、広告、Webサイト、カタログなどで使用される

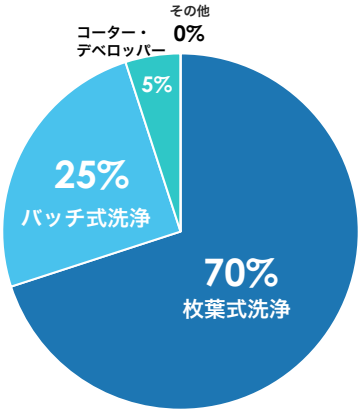
詳細はこちら （公式WEBページへ）

>>今回の業務提携を機に、中国市場でのヒラギノフォントの展開を加速
>>良質な文字づくりにおける豊富なノウハウや実績を生かし、今後も高品質な多言語フォントを提供する

Appendix>> 単独・売上高比率

SPE

製品別売上高比率 - FY2024/03 1Q



(%)	FY2021/03	FY2022/03	FY2023/03	FY2024/03 1Q
枚葉式洗浄	70	70	65	**70**
枚葉式洗浄のうち、SU-3200の割合	65	60	60	**75**
バッチ式洗浄	25	25	25	**25**
コーター・デベロッパー	5	5	5	**5**
その他	0	0	5	**0**

※上記比率は、5%刻みの「約」表記

Appendix>> 主要数値の変遷

（億円）	FY2019/03	FY2020/03	FY2021/03	FY2022/03	FY2023/03	FY2024/03 予想
売上高	3,642	3,232	3,203	4,118	4,608	**4,950**
営業利益	296	125	244	612	764	**850**
営業利益率（%）	8.1	3.9	7.6	14.9	16.6	**17.2**
総資産	3,809	3,479	3,826	4,593	5,628	-
自己資本	1,791	1,739	2,083	2,477	2,998	-
自己資本比率（%）	47.0	50.0	54.5	53.9	53.3	-
ROE（%）	10.3	2.8	7.9	19.9	21.0	-
減価償却費	68	88	96	95	87	**110**
設備投資額	240	79	78	134	290	**270**
研究開発費	228	215	215	240	247	**290**
EPS（円）	387.10	107.37	325.21	976.55	1,216.33	**611.65**※1
配当金（円）	97	30	90	293	365	- ※2

※1 FY2024/03の予想EPSは、株式分割の影響を考慮しています
※2 FY2024/03の予想配当金は、株式分割の実施により単純合計できないため非表示

2024年3月期 IRデイ（機関投資家・証券アナリスト向け）開催のお知らせ

■日程（予定）：9月25日(月)　15:00～17:30 頃

■開催場所：京都本社・オンラインのハイブリッド（予定）

■内容（予定）：

- 経営大綱刷新について
- 各事業の動向・取り組みについて

>> 準備が整い次第、ご案内させていただきます

Innovation for a Sustainable World